

条判本完全攻略。倍速復習MP3付。

予備試験対策
司法試験対策

聞くだけ完成

条判本会社法(21時間)

条文・判例スタンダード本

難解な条文構造を解きほぐし、論文頻出テーマを一網打尽！
ひとりでは骨の折れる「条判本」を一緒に、一気に攻略します。

聞くだけでスムーズに身につく**段階学習**。

1【全体概要編】→2【重要事項編】

司法試験・予備試験受験対策の定番本である条文判例本。試験に必要な知識はこの本に集約されていると言っても過言ではありませんが、会社法は特に条文数が多く、その構造も難解なため、ひとりで読み進めるにはかなり骨が折れます。

本講義では、予備試験・司法試験上位一発合格者である山田講師が、会社法の全体構造からはじめて、試験で問われやすい重要箇所を中心に解説していきますので、効率的に使いこなすことが出来るようになります。

それぞれ講師が書き下ろしたレジュメ付。中でも重要事項編では講師が出来る限り1テーマ1枚にまとめて書き上げた手書きレジュメが威力を発揮します。

1ユニット30分の全42ユニット。一気に聞くもよし、こまめにわけて聞くもよし。億劫で後回しにしがちな会社法を一気に攻略しましょう！

講義時間：全21時間（1unit30分×42）

使用教材：①全体概要レジュメ（講師作成）

②重要事項レジュメ（講師手書き）

③講師指定判例



条文判例
スタンダード本
会社法（当研究所刊）
¥3,672（税込）

予備試験・司法試験短期上位合格者
山田麻里子先生

平成23年度予備試験合格（10番台）。

平成24年度司法試験合格（200番台）。

体調の問題で十分な勉強時間が取れなかったため、記憶型の学習スタイルではなく、科目ごとの『思考過程』を徹底的に追求する学習スタイルを確立。短時間の学習で上位一発合格を果たした。

平成29年度司法試験論文式行政法でスバリの的中を出すなど圧倒的な分析力と難解な法律用語を平易な言葉に置き換えて説明する講義スタイルで受講者の圧倒的高評価を得ている。

◆一括受講特典

講師作成「択一レジュメ」

出そうな条文をコメント付きで整理しました。

◆各段階の目的

#	テーマ	目的	時間
1	全体概要編	会社法全体像の説明	3
2	重要事項編	頻出テーマの攻略	18

※時間は目安

◆スケジュール

通信部WEB※		通信部DVD	
配信開始	配信終了	発送開始	申込締切
11/1(水)	18/5/20(日)	10/31(火)	12/29(金)

※申込締切: 18/4/20

※受講料・レジュメは裏面をご覧ください。

Step1 山田講師と一緒に条判本を学習

条文・判例スタンダード本に集約された試験に出る情報を、テーマを設けて順番に攻略。しっかりメモを取りながら講義を聞いて下さい。

Step2 講義の倍速MP3でリピート学習

Step1でしっかりメモを取っていますから、あとは出来る限り時間をあけずに、講義を繰り返し聞いて下さい。その際、速聴することで記憶の定着力が増します。時間短縮はもちろん記憶力アップも狙っての倍速MP3です。ぜひ有効活用して下さい。

※MP3ファイルは受講者特典マイページでご受講いただけます。

※講義内容の著作権は辰巳法律研究所にあります。配布するMP3ファイルは、皆さん個人の復習用に用途が限定されます。当ファイルの録音内容について、著作権保有者の同意を得ずに下記の行為を行うと、著作権の侵害となるため禁止します。

- 1) 著作物の全部または一部を個人利用以外の目的で複製、複写する行為
- 2) 著作物の全部または一部を第三者に頒布、貸与、譲渡、公衆送信、自動公衆送信する行為
- 3) 著作物の全部または一部を解析する、または派生物を制作する行為
- 4) 著作物の全部または一部を修正、変更、翻案、編集、切除等、改変する行為

◆受講料 (税込)

初回1時間を辰巳WEBスクールで無料公開します。ぜひご覧ください。
 検索用コード「17W3DE」。youtubeでも無料で10分公開します！

	通信部							
	時間	講座コード	WEB		DVD		WEB+DVD	
			辰巳価格	代理店価格	辰巳価格	代理店価格	辰巳価格	代理店価格
一括①+②	21	17W2A*	¥41,900	×××	¥43,900	¥41,705	¥45,900	×××
①全体概要編	3	17W3A*	¥6,300	×××	¥6,600	¥6,270	¥6,900	×××
②重要事項編	18	17W4A*	¥37,800	×××	¥39,600	¥37,620	¥41,400	×××

※注1 通信部は、媒体はWEBとDVDをお選びいただけます。DVDはDVD-R対応機種でのみご利用いただけます。

WEB視聴環境等ご自身のプレーヤーをご確認のうえお申し込みください。

※注2 WEBスクールは辰巳ホームページのWEBスクール又は辰巳各本校窓口でのお取り扱いとなります。
 生協・書店等の代理店ではお申込みできません。

講座コードの「*」に当てはめる、通学部の会場選択・通信部の媒体選択の記号の一覧表

通信 WEBはE	通信 DVDはR	通信 WEB+DVDはW
----------	----------	--------------

講師作成レジュメのご紹介

①全体概要レジュメ

聞くだけ完成 会社法
 <全体概要編>

① 会社法とは何か
 (1) 会社法の存在意義

会社法 = お金儲けのための道具としての「会社」という仕組みを私たちに提供する法律
 = 日本経済が上向いて、みんなのためになるのが究極目標

(2) 持分会社と株式会社

お金儲け(事業)がしたい
 ↓でも
 一人でやりたくない
 or
 お金がない(担保がないから貸してもらえない・そもそも持っていない)

⇒ みんなで事業をできるようにする → 持分会社という仕組みを提供する

じゃあ・・・?

③択一レジュメ【一括申込特典】

会社法択一レジュメー新株子約権・社債

1 出題傾向
 新株子約権単体では、募集株式の発行等との異同がよく聞かれる。募集株式の発行と同じだろうと思ったら違ってた！というところがよく出題されている。そこだけは押さえておいてほしい。
 社債については・・・悲しくなるほどでない。出題されたとおもったら、新株子約権付社債について聞かれることが多い。新株子約権と社債をセット売りして、よほどのことがない限りバラで考えられないことだけ押さえておいてくれればもうそれでいい。

2 新株子約権・新株子約権付社債
 (募集事項の決定)
 第二百三十八条 株式会社は、その発行する新株子約権を引き受ける者の募集をしようとするときは、その都度、募集新株子約権(当該募集に応じて当該新株子約権の引受けの申込みをした者に対して割り当てる新株子約権をいう。以下この章において同じ。)について次に掲げる事項(以下この節において「募集事項」という。)を定めなければならない。
 一 募集新株子約権の内容及び数
 二 募集新株子約権と引換えに金銭の払込みを要しないこととする場合には、その旨
 → タダで新株子約権を発行することもできる。

②重要事項レジュメ(手書き)

<利益相反取引>

重要事項の関与 → 取会における承認 → 利益相反取引 → 重要事項の報告

356条1項 356条2項 356条3項

↓
 会社に損害を生じた場合の責任
 423条1項、423条3項(信託報酬)
 18条1項、428条

直接取引(356条1項2項)

会社 ↔ A
 取会A.B (代表はA)
 ⇒ Aは会社の取会承認を要する必要がある。

間接取引(356条3項)

会社 ↔ C
 取会A.B (代表はA) ↔ B
 ↓
 B
 ⇒ Bは、会社の取会承認を要する必要がある。

①全体概要レジュメ：会社法の全体構造を講師の言葉で分かりやすく概観できるレジュメです。
 ②重要事項レジュメ：原則1テーマ1ページ。講師自ら手書きで纏め上げたレジュメです。手書きなので、書きたい場所に、書きたいことを配置。非常に分かりやすく纏まっています。
 ③択一レジュメ：一括申込者限定で配布される特典レジュメ。テーマごとの出題傾向と頻出条文+講師一言コメントを掲載。予備試験短答対策はもちろん、短答がなくなり論文で細かい知識・条文を聞くようになった司法試験論文対策にも有用です。

「間接取引」：金取生
 具体例：取締役の二つの会社
 ※注意 甲会社 ← 代表A 甲社B

利益相反取引は：
 → 取締役が、その会社に利益を齎す行為を会社に報告する。
 ⇒ 「会社に利益を齎す」かどうかで承認が必要か変わる。
 ⇒ 「会社」= 株主が取得すれば良い。取会の承認は「会社株主承認」。
 ・当該取引を代表して行う取締役が「承認」を要する必要がある。
 承認
 ・承認をした利益相反取引は無効
 ただし、相手側の悪意を立証しないと、会社は利益に悪影響を主張できない。